

## 非核平和都市宣言起草案

やすらぎと希望に満ちた平和な日々を送ることは、世界の人々の願いです。

しかし、いまも世界のどこかで人間（ひと）の命の尊さを踏みこむような争いが続き、人類は、核兵器の脅威にさらされています。

原子爆弾による広島・長崎の苦しみや悲しみが、二度と繰り返されることのないよう、私たちは、日本国憲法が掲げる平和理念に基づき、非核三原則を守り、非暴力と対話で、核兵器の廃絶と世界の平和を訴え続けなければなりません。

「戦争の悲惨さと平和や生命（いのち）の尊さを、次代を担う子どもたちに伝えたい」

「ぼくたち、わたしたちも平和な未来のためにできることをがんばります」

世代を越えて受け継がれる『平和への思い』が、世界平和への希望の光となることを信じます。

私たちは、木津川と甘南備山に包まれた豊かな自然と先人が築いてきた歴史や文化を大切に、互いに尊敬しあい、家庭から地域、地域から世界へと笑顔と思いやりの輪を広げながら、一人ひとりが平和の実現に向けて努力することを誓い、ここに京田辺市が非核平和都市として歩むことを宣言します。

※ パブリックコメントで提案した非核平和都市宣言（仮）起草案からの修正点は、次ページのとおりです。

※ この起草案を平成23年（2011年）2月3日に京田辺市平和都市推進協議会会長から市長に報告しました。市では、この起草案をふまえて、平成22年度中に京田辺市非核平和都市宣言が行われる予定です。

## パブリックコメントで提案した非核平和都市宣言（仮）起草案からの修正点

箇所	修正概要
本文 9 行目	「こどもたち」を「子どもたち」に修正
本文 1 1 行目	「平和のために」を「平和な未来のために」に修正
本文 1 3 行目	「多くの市民から寄せられた」を「世代を越えて受け継がれる」に修正

### 参考

#### 非核平和都市宣言（仮）起草案（パブリックコメント提案）

やすらぎと希望に満ちた平和な日々を送ることは、世界の人々の願いです。

しかし、いまも世界のどこかで人間（ひと）の命の尊さを踏みにじるような争いが続き、人類は、核兵器の脅威にさらされています。

原子爆弾による広島・長崎の苦しみや悲しみが、二度と繰り返されることのないよう、私たちは、日本国憲法が掲げる平和理念に基づき、非核三原則を守り、非暴力と対話で、核兵器の廃絶と世界の平和を訴え続けなければなりません。

「戦争の悲惨さと平和や生命（いのち）の尊さを、次代を担うこどもたちに伝えたい」

「ぼくたち、わたしたちも平和のためにできることをがんばります」

多くの市民から寄せられた『平和への思い』が、世界平和への希望の光となることを信じます。

私たちは、木津川と甘南備山に包まれた豊かな自然と先人が築いてきた歴史や文化を大切にし、互いに尊敬しあい、家庭から地域、地域から世界へと笑顔と思いやりの輪を広げながら、一人ひとりが平和の実現に向けて努力することを誓い、ここに京田辺市が非核平和都市として歩むことを宣言します。

※ 修正部分は、下線の部分です。